

不確実性下における効率性予測のための 確率的包絡分析法に関する研究



目で見ると
海外論文発表

小西悠馬*

Stochastic programming approach to DEA
for evaluation of future efficiency

Key Words : data analysis, decision making, uncertainty

<参加会議名> INFORMS Annual Meeting 2014

<開催場所> San Francisco, USA

<渡航期間> 2014年11月7～13日

<発表タイトル>

Stochastic Programming Approach to DEA for
Evaluation of Future Efficiency

私はINFORMS Annual Meeting 2014 (2014年11月7～13日、サンフランシスコ)に参加し、論文の発表および視察に行ってきました。INFORMSはオペレーションズ・リサーチおよびマネジメントサイエンスの分野における大規模な学会で、1995年にそれら2つの分野の統合として設立されています。Annual Meeting 2014はヒルトンホテルで行われ、9～12日の4日間、朝9時頃から夕方5時頃まで20～30のホールを用いてプログラムは同時進行されました。また、ロビーを見渡すと多種多様な国籍の方々が出迎えており、初めて海外の学会に参加した私は改めてそのスケールの大きさに驚かされました。私の発表は11日の午前中だったので、それまでの期間は発表内容の最終確認等で追い込まれていました。本番は20分程度の時間で30枚のスライドを発表し、前日までの苦勞の甲斐あって大きな失敗をすることなく終えることができました。様々な新しい体験をしたこの機会でしたが、最も強く痛感

したことは自身の英語力の低さです。単にスピーチの内容を覚えて話すだけの私に対し、他の方々はアドリブで、かつ身振り手振りを交えて魅力的な発表をされており、大きな力の差を感じました。リスニングの方も、内容を断片的にしか聞き取ることができませんでした。そのような悔しさから、現在は今まで以上に英語の勉強に力を入れています。近い将来にグローバルな舞台で仕事をする機会が得られたときに、今回の発表よりも成長している自分を実感していきたいと強く感じます。この自身の意識の変革こそが、今回の最も大きな収穫でした。



参加者の交流の様子



*Yuma KONISHI

1990年5月生
大阪大学工学部応用自然科学科卒業
(2013年)

現在、大阪大学大学院情報科学研究科情報
数理学専攻 森田研究室 大学院生
学士 統計学

TEL : 090-9049-5965

E-mail : yuma.konishi@ist.osaka-u.ac.jp



会場周辺の街並み